

高山市におけるデータ地産地消～大学生と高校生による地域DX～

- 2019年の実証実験後、2020年にAIカメラによる通行量データの収集を開始
- 市や地元事業者との連携によってデータ分析に基づく施策検討を行う等、“データの地産地消”を実践！

通行量データの収集 (2020年～現在)



通行量データの活用 (2021年～現在)



2023年～ 飛騨高山高校との連携を開始！

飛騨高山高校 大学院生・大学生による データ分析&利活用勉強会

- 高校生が地域課題を知り、大学生からデータサイエンスを学ぶことで、地元の将来を身近に感じる（担い手育成へ）



研究室主催 市職員・商工観光事業者向け デジタル勉強会&ワークショップ

- デジタルスキルを身に着けた高校生が市職員や地元事業者のデジタル活用をサポート（地域課題解決）



“データ地産地消”による観光まちづくり
大学生と地元高校生が地域DXを推進！

大学院生・大学生によるデータ分析&利活用勉強会（飛騨高山高校の授業に導入）

No.	年	日	時限	内容	実施場所
1	2023	9/8	4,5,6	名大生と始めるデジタル勉強会～データ利活用編～	飛騨高山高校
2	2023	10/30	5,6	名大生と始めるデジタル勉強会～第2回データ利活用編～	飛騨高山高校
3	2024	7/8	4,5,6	名大生と始めるデジタル勉強会～バス分析練習編～	飛騨高山高校
4	2024	8/30	5,6	名大生と始めるGBP（Googleビジネスプロフィール）利活用	オンライン
5	2024	9/13	5,6	分析を考える会	オンライン
6	2024	9/20	5,6	分析を実践する会	オンライン
7	2024	10/10	6	高校生と取り組むデータ地産地消① センサー開発体験	飛騨高山高校
8	2024	10/11	5,6	高校生と取り組むデータ地産地消② 講義・現地視察	高校・まちなか
9	2024	10/22	6	高校生と取り組むデータ地産地消③ センサー設置 議論	オンライン
10	2024	10/25	5,6	高校生と取り組むデータ地産地消④ センサー開発（ケース） 以下、実施予定	飛騨高山高校
11	2024	11/1	5,6	高校生と取り組むデータ地産地消⑤センサー開発（ボード）	飛騨高山高校
12	2024	11/5	6	Instagram リールを作成・投稿する会①	オンライン
13	2024	11/7	6	Instagram リールを作成・投稿する会②	オンライン
14	2024	11/8	5,6	高校生と取り組むデータ地産地消⑥ センサー設置	まちなか
15	2024	11/22	5,6	Instagram ダッシュボード勉強会	オンライン
16	2024	11/29	5,6	高校生と取り組むデータ地産地消⑦ データ回収	まちなか
17	2024	12/6	5,6	高校生と取り組むデータ地産地消⑧ データ分析	飛騨高山高校



2023.9.8
活動内容・通行量データ分析について



2023.10.30
WSに向けてデータ分析を実践



2024.7.8
市のバス施策について分析・発表



2024.10.11
センサー開発の勉強会

通行量データの分析や地域課題解決のためのデジタル活用 ⇒ 高校生がスキルを習得

市職員・商工観光事業者向けデジタル勉強会&ワークショップ (研究室主催)

No.	年	日	内容	実施場所
1	2023	12/1	第3回WS まちづくりに向けた通行量データ分析	市役所第会議室
2	2024	2/16	名大生と始めるデジタル勉強会～データ活用編～	市役所会議室
3	2024	9/6	Googleビジネスプロフィール利活用勉強会	村半
4	2024	10/4	バス施策分析ワークショップ 以下、実施予定	市役所会議室
5	2024	11/1	Googleビジネスプロフィール利活用勉強会	村半
6	2024	11/15	Googleビジネスプロフィール利活用勉強会	村半
7	2024	11/15	第4回WS (データ分析結果の発表&分析サポート)	図書館
8	2024	12/6	Googleビジネスプロフィール利活用勉強会	村半
9	2024	11/29	高校生デジタルサロン (データ利活用&Instagram等)	村半
10	2024	12/20	Googleビジネスプロフィール利活用勉強会	村半

高校生が地元商工観光事業者等の データ分析&デジタル活用をサポート!!

「市営神明駐車場のバス区画廃止の実証実験」において、バスと人の通行量はどうか変化していたのかを高校生が検証



今までデータとしてしか見ていなかったデータが地域の方々の生活に直接つながる生のデータだと感じられる貴重な体験だった。

非常にスキルが高い。
仮説から検証の所作が身についている。
今後もこのような機会があることを望みます。



2023.12.1

※高校生は学校閉鎖期間となり欠席



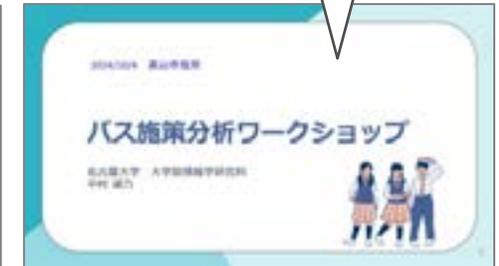
2024.2.16

市職員によるデータ分析をサポート



2024.9.6

観光事業者のデジタル活用を補助



2024.10.4

市のバス施策効果検証で分析を担当

デジタルに強い高校生 ⇒ 商工観光事業者のデジタル活用をサポート ⇒ 地域社会DXへ